

学年	1	教科	英語	科目	コミュニケーション英語 I	単位数	3
教科書名	Revised POLESTAR English Communication I (数研出版)			副教材名	<ul style="list-style-type: none"> ・ Revised POLESTAR English Communication I ワークブック Advanced (数研出版) ・ 新ユメタン1(アルク) ・ スタディサプリ English 		
クラス・コース	芸能			担当者	古川 優		

I. 目標

- 1 高校2学4月に受ける基礎学力到達度テストの長文問題で70%の得点を目指す。
- 2 実用英語技能検定(以下英検)準2級、CEFRA1程度の取得を目指す。
- 3 単語テストや熟語テストを定期的実施し、必要な語彙力を身につける。

II. 授業のねらい

- 1 四技能(Reading / Listening / Writing / Speaking)を使う活動の授業を展開する。
- 2 特に、英語力の「基礎・基盤」となる力、つまり「語彙」「文法」の習得を徹底する。

III. 授業の進め方

- 1 スタディサプリ English を使用して、授業の冒頭10分程度はリスニング問題に取り組む。
- 2 最初に自力で英文を解釈し、各パートで設定されている設問に答える。
- 3 解説の中で、英文構造を解析し、文法事項も確認する。
- 4 構造を理解した英文を習得するため、各パートの音読をする。
- 5 ペアワークを中心に様々な音声活動に取り組ませる。

IV. 学習上の留意点

- 1 タブレット端末(Classi Note 等)を最大限に資料して、視覚的、音声的な面からも英語に触れさせる。
- 2 毎週、週末課題を課し(予定)、初見の長文に対応できる読解力を養う。

V. 定期試験

- 1 日大基礎学力到達度テストと同じ形式の問題を数題出題する。
- 2 授業で扱った箇所は、全体の6割程度出題する。
- 3 初見問題は4割程度出題する。

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト(単語テスト)、提出物状況、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	Lesson 1 ・ 5 文型 ・ 不定詞(名詞的用法)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小テスト ・ 課題提出 ・ 単語テスト ・ 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習事項定着と基礎学力到達度テスト形式に慣れる。
	5	Lesson 2 ・ 現在完了・動名詞 ・ 不定詞(形容詞的用法・副詞的用法)		
	6	Lesson 3 ・ 関係代名詞 ・ 分詞の形容詞的用法		
	7	ユメタン英単語 / 週末長文課題		
二学期	9	Lesson 4 ・ It seems that.../ seem to do ・ 過去完了進行形、過去完了形	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小テスト ・ 課題提出 ・ 単語テスト ・ 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習事項定着と基礎学力到達度テスト形式に慣れる。
	10	Lesson 5 ・ 完了受身形、関係副詞 Lesson 6 ・ 現在分詞を用いる分詞構文、SV現在分詞(doing)		
	11	Lesson 7 ・ 分詞を用いた慣用表現 ・ It is ~ that...(強調構文) ユメタン英単語 / 週末長文課題		
	12			
三学期	1	Lesson 8 ・ 助動詞+受動態、仮定法過去 Lesson 9 ・ SVOO, SVOC	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小テスト ・ 課題提出 ・ 単語テスト ・ 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1,2 学期の学習内容を活かし、応用力を身につける。 ・ 学習事項定着と基礎学力到達度テスト形式に慣れる。
	2	・ if を使わない仮定法過去 Lesson 10 ・ so~that... ・ 仮定法過去完了		
	3	ユメタン英単語 / 週末長文課題		

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。